

UIUC(University of Illinois Urbana-Champaign)工学部での講義が始まってから約2ヶ月が経過し、今学期の半分が過ぎた。講義から始まってからの生活は忙しく、あっという間に2ヶ月が経った気がする。今回は講義を受けて私が感じたこと等について報告する。

冬の訪れ

10月になってまた気温が下がってきた。月初めにしばらく気温が上がり、Tシャツで過ごせる日が何日かあったが、それ以降は下がる一方である。乾燥した気候のせいか、昼間と夜の気温のギャップが大きい気がする。Tシャツにパーカーを着ても凄く寒いのに、そんな気温の中をTシャツ一枚で出歩く一部のアメリカ人は凄くと思う。また10月25日いっぱいまで夏時間が終わった。夏時間中はTVの番組予告CMで放送時間が地域別に表示されていたが、今では統一されている。理由は知らないが、アリゾナ州とインディアナ州東部では夏時間は採用されていない。つまり、同じタイムゾーン(Central Time Zone)の中でも夏時間の間は時間にずれが生じているということである。通常時間に戻ったのは26日の日曜日であったが、実のところ私はすっかり忘れていた。起床後ノートPCを起動したときに、PC内の時計と部屋の時計で時間がずれているのを見て気付いた。その日はME393のパートナーであるTonyとミーティングの予定があったのだが、時間が1時間遅れたということなので問題はなかった。しかし、逆に夏時間に切り替わったときは1時間早まるということなので、時計の設定を忘れると大変な事態が起こりかねない。是非覚えておいて気をつけたい。

講義

講義が始まり2ヶ月が過ぎ、だいぶ慣れてきた。宿題も多いがなんとか頑張っこなしている。今の時期は秋学期の中頃なので中間試験の時期ともいえるが、私が受講している科目で定期的に試験を行うのはPHYCS111(Physics 111)だけなので大変ではない。ただこの科目はFinal Examも含め月に1回試験が行われる。9月30日に第1回目の試験があり明日は2回目の試験が控えている。受講人数が非常に多いせいか試験はマークシート方式である。このマークシート方式のユニークな点は、5択問題の場合に限り複数の答に回答してもよいというものである。たとえば一つだけ選んで正解だった場合は6点、二つ選んでどちらかが正解であれば3点、三つ選んでどれかが正解であれば2点といった具合である。もっとも5択問題は基本的に計算問題なので、まったく手の出ない問題でもないと複数の答えを選ぶことはないといえる。しかし、次の記述のうちで正しいものを選びというタイプの3択問題でちょっとした文章の読み違いで答えを間違えるということがあったため、結果はいまひとつであった。明日のテストはもっといい点数が取れるように頑張りたい。

今日のESL113の講義で教授は剽窃について過去の事例を話してくれた。20年ほど前、教授が大学院生だった頃に受け持ちのクラスの学生が剽窃したレポートを提出したという出来事だ。そのときはレポートをやり直させ、剽窃については教授も学生も一切他言しないということで終わったそうだが、その学生は泣きに泣いたそうだった。つまりこの学生は剽窃するということがどれくらい悪いということを知っていたということである。アメリカにおける剽窃の考え方は厳しく、大学で学生が剽窃を行った場合、単位取り消しや最悪の場合が退学もありえるそうである。ついうっかり注釈を付け忘れて論文を提出してしまい、剽窃とされてその世界での地位を失ったという人物もいるという話も聞いたことがある。以前からアメリカの剽窃に対する姿勢は厳しいものだとは聞いていたが、改めてその厳しさに触れて慄然とした。そう考えると、日本の大学ではここまで厳しくないような気がする、実際TAをやっている学部生のレポートに注釈や参考文献が記載されていないことも多々あった。また自分自身学部1年生のとき

はそういったことに対する意識は少なかった。20年前とは違い最近インターネットで情報が簡単に見つけることができる、また自分の手で書かなくてもコピー&ペーストで一瞬にしてコピー出来てしまう。レポートを見る人も剽窃かどうかをすべて見分けるのは不可能に近いので、結局のところ学生側のモラルの問題になるのかもしれない。

ME393では週1~2回 Tony と会って作業を進め、週1回 Miller 教授のオフィスで進捗報告をするといった具合に進んでいる。話し合いでは技術的な単語が出てくることが多いので、正直な話教授と Tony の会話についていけないところが大きい。また、自分のアイデアもうまく英語にすることが出来ないこともある。そんなこともあり、私はパートナーとして役立っていないことを痛感している。現在の進捗状況は実験に用いる台車の不足部品を製作するためにデザインを行い、それと並行して実験に用いるひずみセンサなどの部品の発注をするといった段階である。デザインには CAD を用いているのだが、UIUC で用いられている CAD は Pro/ENGINEER というものである。名前は聞いたことはあったが使ったことはなかったので、勝手に分からず苦労している。専門的なソフトウェアは日本語でかかれていても難しいのに英語で書かれるとさらに難しい。デザインが決まり、材料も揃ったらいよいよ製作にとりかかるわけだが、そのときは工作機械を用いることになるだろう。こちらにきた当初なまさかこちらで工作機械を使うことになるとは思ってもいなかったが、最近こういった金属加工はしていないので楽しみではある。

体調

月末に私は風邪を引いてしまった。夜に喉の調子がおかしくなったのを感じて、これは風邪を引きはじめたかなと思い、日本から持ってきた風邪薬を飲んだ。しかし、次の日から体調が悪化し、結局体調が良くなるのに約1週間かかった。その間なかなか勉強がはかどらず、時間ばかりかかってしまい睡眠不足に陥るといった悪循環だった。とにかくこれからは寒さは今以上に厳しくなるだろうから、体調の管理はしっかりするように気をつけたい。

その他

こちらに来る前に私は日本で国際運転免許証を発行してもらってきた。この免許証の有効期限は1年なのだが、友人から聞いた話によるとイリノイ州では3ヶ月以内の間で有効であるらしい。3ヶ月なんてとうの昔に過ぎてしまっているのだから、今はレンタカーを借りることすら出来ない状態である。来月の Thanksgiving にはレンタカーを借りてどこかにいこうと考えているので、近々こちらで運転免許証の取得に挑戦しようと思う。

自動車といえば、今月友人の日本人留学生が事故にあった。詳しい様子は知らないが、道路を渡ろうとして自動車とぶつかったらしい。日本であれば自動車と歩行者が接触した場合ほとんどの場合、自動車側が圧倒的に立場が弱いから、こちらではどうもそうではないようだ。聞くところによると、ドライバーがそんなところを歩く方が悪いとあって、壊れたドアミラーの修理代を求めてきたらしい。また警察に事情を話す場合にもなかなか英語が伝わりにくく、ドライバーの意見ばかりが通りそうになったこともあり、友人はかなり精神的にまいっていた。冬になると道路が凍ることもあるので、事故には十分気を付けたい。

以上